

【9月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳5カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳4カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳3カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳2カ月/7月生まれ)
子どもの姿	1. 連休明けから体調を崩すことが多く、月の後半は欠席が目立った。 2. 友だちが持っている玩具に興味を持ち、相手が手を離れた瞬間に取ろうとする姿が見られたが、保育者が仲立ちすることで、「ちょうだい」と身ぶりや自分なりの言葉で伝えようとする様子が見られた。 3. 体調不良の影響もあり、登園時に保護者と離れることを嫌がって泣くなど、様々な場面で激しく自己主張する姿が続いている。	1. オムツ交換や水着の着脱の際に、オムツを脱いだ状態で排尿することがあった。 2. 友だちとの玩具の取り合いでは、相手を押したり引っかくなど、手が出ることもある一方、泣いて保育者に助けを求める姿も見られた。 3. 食事の準備が始まると進んで席に向かい、エプロンをつけようとしていた。		
ねらい	1. 季節の変わり目を健康的に過ごす 2. 思いや要求を、自分なりに伝えようとする	1. タイミングが合いトイレで排尿する 2. 友だちと心地よく関わる		
内容	1. 体調に合わせて十分に休息を取り、気温や活動に応じて衣服を調整してもらいながら、快適に過ごす。 2. 友だちが使う玩具への興味を保育者に受け止めてもらい、仲立ちのもとで「かして」といった簡単な言葉や身ぶりで思いを表現しながら、やり取りの楽しさや、相手に思いが伝わる喜びを感じる。	1. オムツに排尿していないタイミングでトイレに行き、保育者に見守られながら、安心して便器に座る。 2. 保育者の仲立ちのもと、友だちと玩具のやり取りを行い、思いが伝わる喜びや関わる楽しさを感じる。		
環境構成 配慮 援助	1. まだ本調子ではないため、家庭での様子を丁寧に聞き取り、職員間で情報を共有しながら、日々の体調に留意して関わる。また、一日の中で寒暖差が大きい時期のため、気温や活動に応じて、「汗をかいたから着替えようね」「肌寒いから上着を着ようね」と声をかけながら衣服の調整を行い、快適に過ごせるよう配慮する。 2. 玩具の数や遊ぶスペースを十分に確保し、不要なトラブルを防ぐ。友だちの玩具に興味を示した際には、「あの玩具が欲しいんだね」と気持ちを手際よく言葉にして寄り添いながら、「かして」「ちょうだい」などの簡単な言葉や身ぶりで思いを伝える姿を保育者が示したり、双方の思いを代弁しながら、心地よく関われるよう援助する。	1. 本児の排尿間隔を把握し、オムツが濡れていないタイミングで「ちっちが出るかな?」と声をかけてトイレに誘う。本児が安心して便器に座れるよう、手をつないだり体を支えるなどの配慮を行い、「座れたね」「お姉さんみたいだね」とその姿を十分に認めて意欲につなげ、タイミングよく排尿できたときには「すっきりしたね」と声をかけて心地よさに共感する。 2. 十分な数の玩具を用意し、保育者も一緒に遊びながら、「これちょうだい」「これどうぞ」など、玩具のやり取りを経験できるよう声をかけて関わる。友だちと関わろうとする中でトラブルにつながりそうな場面では、双方の思いを代弁しながら仲立ちし、心地よく関われるよう援助する。		
食事	(完了食) ・好きなおかずだけを先に食べようとするため、「お汁もどうぞ」「どんなお野菜が入っているかな?」と声をかけ、様々な食材に興味を持ちながらバランスよく食べられるよう援助する。 ・途中で眠くなって泣いたり、血をひっくり返すことがあるため、その日の様子に合わせて、食事の時間や量を無理のないように調整する。	(完了食) ・好きなものから意欲的に食べる姿に寄り添いながら、「お汁には何が入っているかな?」など優しく声をかけ、バランスよく食べ進められるようにする。 ・食事から興味を逸れてしまうときは、場所を変えたり、「先生と一緒に食べようか」と提案するなどして集中できる環境を整え、様子に応じて介助する。		
家庭との連携	3. 決まった保育者が笑顔で受け入れを行い、親子共に安心感を持ってもらえるよう配慮するとともに、本児の体調についてこまめに情報を共有していく。 ・自己主張が強く表れる場面での対応については、保護者の気持ちに寄り添いながら共に考え、連絡帳や送迎時のやり取りを通じて家庭での様子を丁寧に聞き取りながら見守っていく。	3. 自分なりの見通しを持ちながら主体的に動く様子を通して、本児の成長を保護者に伝えていく。 ・食事の際は、大人が介助するだけでなく、手づかみ食べや自分でスプーンを使う経験の大切さを丁寧に伝え、家庭でも食事への意欲を温かく見守ってもらえるよう働きかけていく。		
評価・反省	1. 月の前半の水遊びは、体調に応じて控える日もあったが、欠席することなく元気に登園していた。涼しい日が増えてきたため、引き続き衣服の調整や室温管理を適切に行い、快適に過ごせるようにしていく。 2. 玩具が欲しいときには、手を出して「(ちょうだい)と言って伝えようとする姿が見られるようになった。本児なりに友だちとやり取りする姿を温かく見守りながら、必要に応じて言葉を添えていく。	1. 便器に座った状態での排尿は見られなかったが、便器から降りた際に排尿することがあった。引き続きトイレに親しめるように焦らず関わりとともに、失敗した際も落ち着いて対応し、安心感を育んでいく。 2. とっさに手が出そうになる場面はまだあるが、保育者の仲立ちにより、落ち着いてやり取りする姿も増えてきた。思いをうまく言葉にできない本児のもどかしい気持ちを受け止めながら、丁寧に思いを代弁していく。		

無料版:2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧&DL可能!

子どもの姿の1,2は『ねらい/内容/環境構成・配慮・援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記:ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり **Plus!**

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。